



あい 愛 逢

第
23
号

特定非営利活動法人 愛逢

尼崎市小中島1-20-21
電話 06-6493-1424
FAX 06-6493-1443
発行責任者 坂本敬子
発行日 2008年11月15日

5周年記念 愛逢餅つき、餅まき大会！

「愛逢」が法人を取得するために設立総会をしたのが2003年11月29日、早いもので、もう5周年を迎えます。この間、愛逢の事業、活動ともに順調に推移し、経営基盤も次第に整い、人材も徐々に育ってきました。

昨年「看取りの家」の開設という新たな目標に向けて、ターミナルケアと終末期の生き方についての講座を持ちました。引き続き今年9月に「最期までどう生きる、最期をどこでむかえる」の講演会並びにシンポジウムを開催しました。

この催しには、定員300名のところ予想を上回る350名の方が参加してくださり、内容も大変好評でした。

少人数の事務局体制の中で、成功裏に終わることができたのは、職員の努力もさることながら、愛逢の理事さんをはじめ関係団体の方々が精力的に呼びかけや広報活動をして

くださったお陰と感謝しています。また、開催までのプロセスの中で市内、市外の多くの方々や団体と友好関係ができ人からひとへと輪が広がりました。

今回の事業を終えて、つなぎあい、支えあうことの意義をあらためて確認しました。

さて、5周年事業ですが、楽しいお祭りのようなことをと言う若い職員の提案で、恒例の「餅つき大会」を拡大して、「5周年記念餅つき、餅まき大会」を開催いたします。

昔は、新築の棟上げでは必ず餅まきがあり、子供にとってはとても楽しい行事でした。今やそんな光景は見ることはありません。この機会に地域の子供たちに餅つき、餅拾いを楽しんでもらいたいと思っています。お誘い合わせてご参加ください。

理事長 坂本敬子

5周年記念餅つき、餅まき大会

☆日時 2008年12月7日(日)
☆場所 小中島ふれあいセンター前
餅つき 午前11時(雨天決行)
餅まき 正午



昨年のお餅つき風景

おせち料理の受け付けを開始しました。お申し込みは愛逢事務所まで。
申込期限 12月22日 配達日 12月30日 料金 3,800円(1~2人前)

「その時をどこで」講演・シンポジウムと ターミナルケアボランティア養成講座が終了

聖トマス大学を会場に9月には『最期までどう生きる 最期をどこで迎える』というテーマで講演・シンポジウムが、10月からは3回シリーズの『ターミナルケアボランティア養成講座』が行われました。

講演は市立砺波総合病院の佐藤伸彦さんの終末期医療についてでした。佐藤さんは若い頃の経験から、医療の真の目的は何なのかと疑問を持たれ、患者のこれまでの人生を一つの“物語”として



とらえ、患者と語り合うのが本来的だと感じ取られました。現在地元で人生の最終章を家族と共に安心して暮らせる「ナラティブ（物語）ホーム」の建設を準備されています。この後のシンポジウムでも多くの質問が出て、これらのテーマに対する参加者の関心の高さを表していました。



また、ボランティア養成講座では臨床心理士、カウンセラーそしてがん専門看護師の方々を講師にお迎えして、ボランティアとしての参考になるお話を伺いました。以下はNPO愛逢のヘルパーさんの感想です。

「傾聴とコミュニケーション技法」

普段なんとなくしている利用者さんとのコミュニケーションの中で考え迷ったりしている事など今回の講座で、コミュニケーションのあり方や仕組みが学べ、とても勉強になりました。

阪田さんは神戸のいのちの電話の訓練員もされているという事で、傾聴などのお話も興味深く、相手の問題は解決できないけれど、困っている状況を受け止め寄り添うことで気持ちや感情が出てきて、スッキリしたり、安心したりと傾聴の意味はあるという事を教えてもらえました。

阪田さんの講座を聞いてからは、自然と以前のなんとなくの関わりの部分が意識的にな

りコミュニケーションに気をつけるようになったと思います。（貴島 絵里さん）

「生と死を見つめて共に生きる」

私はこの講座を受講し、とても勉強になりました。生と死を見つめて共に生きるという内容で自分も老いていき、いずれ通る道であると実感し、これからの活動に生かしていきたいと思います。

ボランティア活動とはと考えた時、色々な現実におち当たり試行錯誤してきました。受講したことを今後の活動に生かしていきたいと思います。

（藤井 一浩さん）



講師の皆さんです。左から阪田憲二郎さん、沼野尚美さん、宇野さつきさん

平和祭が開催されました

11月2日(日)、3日(祝)の2日間にわたって、聖トマス大学を会場に平和祭が開催されました。昨年からは聖トマス大学や地域の市民団体が連携して行われるようになったのですが、今回は更に学園祭＝「新聖祭」との同時開催となりました。

多くの皆さんが参加



日頃、地道に平和の取り組みを行っている東園田九条の会、平和無防備条例をめざす会、園田苑、コープ神戸や地域のNPO法人など11団体で実行委員会を形成して準備を進



めてきました。今回は地域への宣伝に力を入れるとともに、親子で楽しんでもらう場として「こども広場」を設けたことで、親子連れや家族での参加も多く、両日とも約2千名の

参加者でにぎわいのある平和祭となりました。

戦争のもたらすもの



1号館3階では、イラク・アフガン戦争の写真展や沖縄戦のパネルなどが展示され、メイン会場では大型紙芝居、映画、朗読劇などがとりくまれました。とりわけ「残留孤児」の方々による「わたしたちなにじんですか」という朗読劇は、敗戦で中国に取り残され、やっとの思いで日本に帰国しての差別と生活苦・・・たどたどしい「日本語」で訴える戦争のもたらす残酷さと悲惨さは、参加者の胸を打つものでした。

継続は力

日本もイラク・アフガン戦争にまき込まれそうなギリギリの情勢が続く中、NPO愛逢は多くの平和を願う団体・市民の方々とネットワークを拡げながら、平和への思いが地域にしっかりと根付くよう協働の努力を続けていきたいと思ひます。

ミッション(社会的使命)

私たちは多様な生き方が尊重され、
誰もが安心して暮らせる地域を作る為、
仲間と支えあい(愛)、つなぎあ(逢)っていきます。

寄付金をいただきました

敬称略)

(期間：9月11日～10月25日)

長谷川昭子 桜井隆 富松英二 中村大蔵 兼行栄子 匿名希望

園田東地区母親クラブ 小西加保留 志貴亘子(商品券) の方々に

当会の趣旨にご賛同頂き、ご協力頂きましたことを厚くお礼申し上げます。

高齢者や一人暮らしの方への愛逢の配食サービスは、現在約60人の方々に利用されています。皆さんから時々お手紙をいただきます。

わずかの寄付に御丁寧なお手紙頂戴致しまして恐縮致しております。年と共に衰えるのが当たり前になりますのに、この御心配りの効いた夕食を据え膳で頂くようになり、以前より元気になれた気がして有難いと思っています。お味も年配向けに美味で希に楽しいデザートがあったりして嬉しゅうございます。いつも申しますように配達の方々も皆さま気持ちの良い方々で喜んでいきます。一筆お返し迄
かしこ

愛逢様
お世話になって
ありがとうございます

ミニデイで池田のインスタントラーメン発明記念館に行ってきました。

皆さん『マイカップヌードル』を作り、お昼は五月山公園で食べ、楽しい外出でした。年2回は遠出しています。



タイム ホット待夢

秋のNHK合唱コンクール中学生部門の課題曲にアンジェラ・アキさん作詞作曲による「手紙」が歌われました。中学生が未来の自分に手紙を書くのです。未来には苦悩や挫折も多いけれど乗り越えて素晴らしい人生を歩み出しているであろう自分がいることを信じて書くのです。

私達には長い未来は無理としても来年の誕生日に向けてなら書けないでしょうか。開封時、元気に過ごしているであろうことを願って来年その日を迎えることが出来た時には生きていることに一層の喜びを感じられることでしょう。そして又、来年への手紙を書いてみて下さい。何かを感じ取れる自分がいることを信じて。



<淑女>

